

# IMSAP スタジオ

2020年秋コース(第2期)

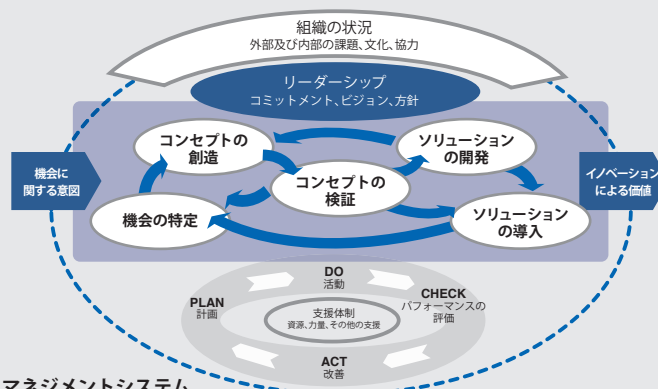
## イノベーション・ マネジメントシステム 学習プログラム



ISO56000シリーズと世界の動向に学ぶ

「本業を持つ組織からイノベーションを起こしづらい」のは、世界各国の企業の共通の悩みです。既存事業の慣習や経営の常識が、イノベーション活動を阻害するからです。そのような悩みを抱えた国が59カ国集まり、イノベーション・マネジメントシステム(IMS)の国際規格、ISO56000シリーズが2019年に発行されました。規格づくりに日本を代表して最初から参画している一般社団法人 Japan Innovation Network が提供する、日本初のIMS実践者向けの入門プログラムです。

右図は国際規格(ISO56002)で定められたイノベーション・マネジメントシステム(IMS)の骨格です。IMSとは継続的なイノベーションに求められる「経営のOS」です。オペレーション(モノづくりとカイゼン)に最適化された経営OSのまま、デザイン思考などの「イノベーションのためのアプリ」を導入しても、期待した成果は生まれません。「古い経営OSの刷新」が、今、日本企業に求められています。



ISO56002:イノベーション・マネジメントシステム

### スタジオの目的と提供価値

世界最先端のイノベーション・マネジメントシステム(IMS)の知を習得し、実践する覚悟を決める

#### 世界最先端の知を得る

ISO56000シリーズに基づき、IMSの要素とあり方を体系的に習得する

#### チーム構築

各社3-5名で参加し、IMS導入・実践の中核となるチームを構築する

#### IMS導入準備

担当役員の合意獲得を含む、IMS導入・実践に向けた道筋を立てる

#### IMSコミュニティ参画

IMS実践をめざす他企業のリーダーや専門家を含むIMSプロフェッショナルのコミュニティの一員となる

### 参加をおすすめする企業

- イノベーション・マネジメントシステムの実践を検討している
- 様々なイノベーション手法に取り組んでいるものの、成果が出ず苦労している
- イノベーションの必要性は理解しているが、何から着手すべきか苦慮している
- イノベーション推進人材の育成が急務と考えている
- ISO56002規格を読んでみたものの、その意味合いが十分に理解できない

## スタジオの基本構成と価格

IMSAPスタジオは、動画学習、対話セッション、自社議論により構成されます。ISO56002規格の詳細を動画コンテンツで学習し、対話セッションで他社の参加者およびJIN専門家と議論し、理解を深めます。その後、自社チームで自社の状況把握、IMS導入準備に向けた準備を進めます。



### 動画学習

- IMSの基本的考え方と国際規格 (ISO56002) の全体像および各章の詳細を20分×10本の動画で学習
- ISO56002 制定に参画した西口 (JIN 代表理事) による解説を動画化
- 参加者は都合の良い時間に視聴
- 出された課題を事前検討して、対話セッションに臨む

※規格を事前に購入し、手元にあることを前提に実施

・スタジオには各社5名まで参加いただけます。

・スタジオ期間中は、IMS導入準備の目的に限り、動画コンテンツを社内利用いただけます。  
(期間後は別途有料)



### 対話セッション

- 2時間×5回のオンライン・セッションに複数企業の参加者が集合
- JIN 解説陣との対話や解説を通じ、規格の深い理解と自社適用のヒントを得る
- IMS実践を志す参加企業のネットワークや相互学習の機会が実践に向けた取組を加速
- 先進企業へオンライン・ベンチマーキング実施

※オンライン (zoom) での実施を基本とするが、covid-19 の状況次第では対面の場を設定



### 自社議論

- 対話セッションで学んだことをもとに、自社実践に向けた適用のポイントや現状の課題を議論
- 議論を通じて IMS立上げに向けた自社チームを構築

※自社議論のテーマはスタジオにより提供されますが、議論の実施は各社に委ねられる

価格: 100万円 (消費税別)

## 参加条件

- 自社のIMS導入・実践に熱意あるリーダーの存在 (役職は問いません)
- IMS検討・推進に関わる3-5名による参加 (活動を通じてチームを構築します)
- IMS導入・推進を支援する役員の存在 (不在の場合、活動期間中に探していただきます)

## 活動予定 (プログラムは変更されることがあります)



### 動画学習



### 対話セッション

第1週   第3週	<b>1-2. IMS と ISO の概要</b> ・IMSの基本 ・ISO56002 概要 <b>3-4. イノベーション活動 (8章)</b> ・活動の計画 ・機会の特定 ・コンセプトの創造と検証 ・ソリューションの開発と導入	<b>第1回 2020年12月17日 (木) 15:00-17:00</b> ・IMSの重要性と全体像を理解する ・国際規格ができたことの意味合いを理解する ・イノベーションのあり方を理解する
第4週   第6週	<b>5. 組織の現状 (4章)</b> ・組織状況の理解 ・利害関係者のニーズと期待 <b>6. リーダーシップの重要性 (5章)</b> ・リーダーシップコミットメント ・ビジョンとイノベーション戦略 <b>7. 計画策定 (6章)</b> ・機会とリスクを明らかにする ・目的と達成に向けた計画の策定	<b>第2回 2021年1月14日 (木) 15:00-17:00</b> ・自社の現状を把握する ・リーダーシップの重要性を理解する ・イノベーションの目的達成のための計画策定の重要性を理解する
第7週   第9週	<b>8-9. 支援体制の確立 (7章)</b> ・経営資源の概論と人材 ・時間と知識のマネジメント ・財務とインフラ ・力量のマネジメント ・認知度、コミュニケーションと文書化情報 ・ツール、方法と知財のマネジメント	<b>第3回 2021年2月4日 (木) 15:00-17:00</b> ・支援体制の重要性と経営資源の投入のあり方を考える
第10週   第12週	<b>10. 評価と改善 (9/10章)</b> ・測定/分析/評価および内部監査 ・マネジメントレビューと改善	<b>第4回 2021年2月24日 (水) 15:00-17:00</b> ・イノベーション活動を評価し改善に繋げていく ・これまで学んだ内容を踏まえ、改めてIMSの全体像を考える
第13週   第15週	各自で振り返り学習 自社のIMSの計画策定に向けた準備	<b>第5回 2021年3月11日 (木) 15:00-17:00</b> ・自社での実践を進めるために

## プログラム責任者



### 紺野 登

一般社団法人  
Japan Innovation Network  
Chairperson 理事

組織や社会のナレッジ・エコロジー (知の生態学) をテーマに、知識経営、場の経営、ワークプレイス・デザイン、都市開発プロジェクトやデザイン戦略プロジェクトの研究・実務に携わる。多摩大学大学院教授、エコシラボ代表、一般社団法人 Future Center Alliance Japan 代表などを務める。主な著書に『構想力の方法論』(野中郁次郎共著) など。



### 西口 尚宏

一般社団法人  
Japan Innovation Network  
代表理事

大企業からイノベーションは興らないという定説を覆す活動に注力。2015年からISO56000シリーズの策定に日本代表のエキスパートとして原案作り携わる。スウェーデン国立研究所 (RISE) 認定イノベーション・マネジメント・プロフェッショナル、日本長期信用銀行、世界銀行グループ、マーサー社ワールドワイドパートナー、産業革新機構執行役員などを経て現職。主な著書に『イノベーターになる』(紺野登共著) など。

お問い合わせ  
お申し込み先: [ims@ji-network.org](mailto:ims@ji-network.org)

一般社団法人 Japan Innovation Network  
〒100-0011 東京都千代田区千代田 1-1-1 帝国ホテルタワー 8階  
Tel. 03-5510-7188 <https://ji-network.org>

